

**この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。**

受付印		家事 調停 申立書 審判	事件名	婚姻費用分担請求 婚姻費用増額請求 婚姻費用減額請求
（この欄に申立て1件あたり収入印紙1,200円分を貼ってください。）				
収入印紙	円			
予納郵便切手	円	（貼った印紙に押印しないでください。）		

旭川 家庭裁判所 御 中 平成 年 月 日	申 立 人 （又は法定代理人など） の 記 名 押 印	印
-----------------------------	-----------------------------------	---

添付書類	（審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。） 戸籍謄本（全部事項証明書）（内縁関係に関する申立ての場合は不要） 申立人の収入に関する資料（源泉徴収票，給与明細，確定申告書，非課税証明書等の写し）	準 口 頭

申 立 人	住 所	〒 - ( 方 )		
	フリガナ 氏 名	大正 昭和 年 月 日生 平成 ( 歳 )		
相 手 方	住 所	〒 - ( 方 )		
	フリガナ 氏 名	大正 昭和 年 月 日生 平成 ( 歳 )		
未 成 年 の 子	住 所	申立人と同居 / 相手方と同居 その他 ( )	平成 年 月 日生	
	フリガナ 氏 名	( 歳 )		
	住 所	申立人と同居 / 相手方と同居 その他 ( )	平成 年 月 日生	
	フリガナ 氏 名	( 歳 )		
	住 所	申立人と同居 / 相手方と同居 その他 ( )	平成 年 月 日生	
	フリガナ 氏 名	( 歳 )		

（注）太枠の中だけ記入してください。 の部分は、該当するものにチェックしてください。

**この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。**

申立ての趣旨は、当てはまる番号を で囲んでください。  
の部分は、該当するものにチェックしてください。

申 立 て の 趣 旨	
( 相手方 / 申立人 ) は、( 申立人 / 相手方 ) に対し、婚姻期間中の生活費として、次のとおり支払うとの( 調停 / 審判 ) を求めます。	
1 毎月( 金 ..... 円 / 相当額 ) を支払う。	
2 毎月金 ..... 円に増額して支払う。	
3 毎月金 ..... 円に減額して支払う。	
申 立 て の 理 由	
同居・別居の時期	
同居を始めた日...	別居をした日...
昭和 ..... 年 ..... 月 ..... 日 平成 .....	昭和 ..... 年 ..... 月 ..... 日 平成 .....
婚姻費用の取決めについて	
1 当事者間の婚姻期間中の生活費に関する取り決めの有無 あり(取り決めた年月日:平成.....年.....月.....日)      なし	
2 1で「あり」の場合	
(1) 取決めの種類	
口頭      念書      公正証書 調停      審判      和解	( ..... 家庭裁判所 ..... ( 支部 / 出張所 ) ) (平成.....年(家.....)第.....号)
(2) 取決めの内容 ( 相手方 / 申立人 ) は、( 申立人 / 相手方 ) に対し、平成.....年.....月から.....まで、毎月.....円を支払う。	
婚姻費用の支払状況	
現在、毎月.....円が支払われている(支払っている)。 平成.....年.....月ころまで、毎月.....円が支払われていた(支払っていた)が、その後、( 減額された(減額した) / 支払がない(支払っていない)。)	
支払はあるが、一定しない。 これまで支払はない。	
婚姻費用の分担の増額または減額を必要とする事情(増額・減額の場合のみ記載してください。)	
申立人の収入が減少した。 申立人が仕事を失った。 申立人自身・未成年者にかかる費用( 学費    医療費    その他 )が増加した。 その他( ..... )	相手方の収入が増加した。

これは申立書を補充するもので、この写しは申立書写しと一緒に相手方に送付されます。

平成 年（家イ）第 号

## 申立書補充書 （婚姻費用分担調停事件用）

（用紙が不足する場合は、別に用紙を用意して記入してください。）

1 同居している家族について書いてください。			
氏 名	年 齢	続 柄	職 業 ・ 学 籍
2 あなたの住居の状況について書いてください。 自宅（ローン月額_____円） 申立人 / 相手方が、ローンを支払っている。 申立人及び当事者以外の家族所有 賃貸（賃料月額_____円） 申立人 / 相手方が、賃料を支払っている。 その他（ _____ ）			
3 あなたの収入・負債について書いてください。 昨年の年収（税込）約_____万円 源泉徴収票添付 賞与（年 回） 約_____万円 現在の月収 約_____万円 実家等の援助 月額約_____万円 生活保護費 月額約_____万円 児童手当 月額約_____万円 児童扶養手当 月額約_____万円 その他の収入 月額約_____万円 （ _____ ） ----- 負債 ある（約_____万円） ない （内容）			
4 あなたの職業を書いてください。 （職業・業種） _____ 無職（平成____年____月ころから）			

平成\_\_\_\_年\_\_\_\_月\_\_\_\_日 氏名\_\_\_\_\_印

## 進行に関する照会回答書

これは調停進行の参考のためにうかがうものです。  
これは相手に送付されませんし、相手に見られることはありません。

<p>参考に都合の悪い曜日・希望の曜日を記入してください</p>	<p>申立人が都合の悪い曜日 曜日 午前・午後</p> <p>申立人が希望する曜日 曜日 午前・午後 ( 土・日・祝日を除く ) 特になし わからない</p>	<p>相手方が都合の悪い曜日 曜日 午前・午後</p> <p>相手方が希望する曜日 曜日 午前・午後 ( 土・日・祝日を除く ) 特になし わからない</p>
<p>あなたと相手の電話番号を記入してください(平日の昼間に確実に連絡を取れる電話番号を一つ以上記入してください)</p>	<p>裁判所と名乗って連絡 自宅( ) 可 不可 携帯( ) 可 不可 職場( ) 可 不可 (社名 ) その他( ) 可 不可</p>	<p>裁判所と名乗って連絡 自宅( ) 可 不可 携帯( ) 可 不可 職場( ) 可 不可 (社名 ) その他( ) 可 不可</p>
<p>あなたの連絡先について記入してください</p>	<p>申立書記載のとおり 住所等(申立書と異なる理由: 相手に秘匿したい 転居したため)</p>	
<p>相手の暴力について記入してください。</p>	<p>相手から暴力を振るわれたことはありますか。 ある ない (「ない」にチェックした場合は以下の記載は不要です。) 相手の暴力はどのような内容ですか。 怒鳴る。物を投げる。殴る・蹴る。凶器を持ち出す。 その他( )</p> <p>相手は裁判所でも暴力をふるう可能性はありますか。 ある( 行き帰りの際にある。 裁判所内でもある。 ) ない 分からない</p> <p>配偶者暴力に関する保護命令の申立て(DV防止の申立て)をしましたか。 はい(平成 年 月 日) いいえ</p> <p>申立てをした方へお聞きします。保護命令は出ましたか。 はい(命令書のコピーを出してください。) いいえ</p>	
<p>裁判所に特に配慮を求める事項がありますか。</p>	<p>ない ある(以下に配慮を求める内容を記入してください。)</p>	